

令和4年度

海老名市消防運営審議会



日 時 令和5年2月17日（金）

午後1時30分から

場 所 消防本部会議室

海老名市消防本部

令和4年度 海老名市消防運営審議会 次第

日 時 令和5年2月17日（金）

午後1時30分から

場 所 消防本部会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 消防長あいさつ

4 新規委員及び職員紹介

5 副会長選出

6 報告事項

(1) 消防総務課

- ・消防署南分署整備事業の進捗状況について
- ・消防本部庁舎のトイレ改修工事について
- ・消防団出動指令及び動態管理アプリ導入について

(2) 予防課

- ・予防課の事業報告について

(3) 警防課

- ・「2022 えびな救急フェア」について
- ・車両の更新について

(4) 消防署（管理課・警備課）

- ・管理課・警備課の事業報告について

7 その他

8 閉 会

※会議終了後、本年度に納車された消防車・救急車の見学を実施いたします。

海老名市消防運営審議会委員名簿

令和4年4月22日現在

氏名	住所	選出区分	役職名	任期
壁島 廣幸	海老名市中野	自治連		自 R 4. 4.22 至 R 5. 7.31
木内 修	海老名市杉久保北	学識経験者	会長	自 R 3. 8.1 至 R 5. 7.31
山本 勉	海老名市杉久保北	学識経験者		自 R 4. 1.8 至 R 5. 7.31
鹿子畑美智子	海老名市国分北	学識経験者		自 R 3. 8.1 至 R 5. 7.31
遠藤 治夫	海老名市杉久保南	市民公募		自 R 3. 8.1 至 R 5. 7.31
勝田 暎子	海老名市上今泉	市民公募		自 R 3. 8.1 至 R 5. 7.31
高堰 徹	海老名市大谷北	消防団長		自 R 3. 8.1 至 R 5. 7.31
清水 達也	海老名市中野	消防副団長		自 R 4. 4.1 至 R 5. 7.31

海老名市消防運営審議会 消防本部名簿

役 職	氏 名	備 考
消防長	青 木 利 行	
消防本部 消防次長（消防本部担当）	大 野 公 彦	
消防本部 参事兼消防総務課長	河 井 務	
消防総務課 主幹兼庶務係長	塩 川 和 明	
消防総務課 地域消防係長	東海林 圭 一	
消防本部 参事兼警防課長	佐 藤 幸 博	
警防課 主幹兼警防係長	小 林 邦 央	研修出向中
警防課 主幹兼救急救命係長	成 島 寿 美	
消防本部 参事兼予防課長	柳 田 芳 朗	
予防課 予防査察担当課長兼係長	外 園 太 郎	
予防課 主幹兼危険物指導係長	桃 井 智 輝	
消防本部 消防次長（消防署担当） 兼消防署長	海 塩 明 宏	
消防署 管理課長	菊 池 徹	
消防署 主幹兼管理係長	大 石 仁	
消防本部 参事兼副署長 兼消防署第3警備課長	小 松 明	
消防総務課 庶務係 主査	羽 原 俊 也	事務局
消防総務課 庶務係 主事	本 田 法 之	事務局

報 告 事 項

1 消防総務課

- (1) 消防署南分署整備事業の進捗状況について
- (2) 消防本部庁舎のトイレ改修工事について
- (3) 消防団出動指令及び動態管理アプリ導入について

2 予防課

- (1) 予防課の事業報告について

3 警防課

- (1) 「2022えびな救急フェア」について
- (2) 車両の更新について

4 管理課

- (1) 管理課・警備課の事業報告について

消防署南分署整備事業の進捗状況について

消防署南分署は、昭和59年の運用開始から38年が経過しており、建物は、経年により様々な不具合が発生しております。また、女性エリアがないことから女性職員が当直できないなど、消防業務への影響があります。

このようなことから、消防業務の効率化、更なる消防力の強化を目的に消防署南分署の移転・建替えを行います。

【事業概要】

- 1 場 所 海老名市社家五丁目676番1ほか一筆
- 2 敷地面積 1677.78㎡
- 3 建物規模 延床面積994.61㎡（1階552.61㎡、2階442.0㎡）
- 4 建物構造 鉄筋コンクリート造2階建
- 5 配置車両（予定）
 - (1) 消防ポンプ車 1台
 - (2) 高規格救急車 1台

【事業計画】

令和3年度	用地取得
令和4年度	基本設計・実施設計
令和5・6年度	建設工事
令和7年4月	開署予定



消防本部庁舎のトイレ改修工事について

消防本部庁舎のトイレは、建築から34年が経過し、一部洋式化工事を行いました
がそれ以外の改修は行っておらず老朽化が進んでいます。

消防署は当直で勤務をしており、使用頻度が非常に高く、一般の来庁者が利用す
ることもあるため、衛生的な維持管理が必要であることから改修工事を行います。

【改修概要】

職員の新型コロナウイルス等の感染防止を図るため、ト
イレ手洗い場、小便器、照明
(人感センサー付き)及び換
気設備(照明連動式)を非接
触型の設備に改修し、併せ
て、和式便器をウォシュレ
ット機能を備えた洋式に改修し
ます。

また、衛生面を考慮し、タ
イル敷きの湿式の床から乾式
の床に改修します。



【改修箇所】

		1階	2階
	手洗い場	4台	4台
	小便器	3台	3台
	大便器	1台	3台



1階



2階

「消防団出動指令及び動態管理アプリ」の導入について

令和4年7月から消防団出動指令及び動態管理アプリを導入いたしました。

これまで消防団への災害出動指令は、「防災行政無線」及び「消防指令センターから各携帯電話に配信される出動メール」により行っていましたが、より確実な指令覚知方法として、携帯電話がマナーモード設定時においても強制的に音声発信される「強制音声発信機能」や、「覚知したことを返信しない限り指令音が鳴り続ける機能」等、確実に出動指令を伝達する機能を有するアプリの導入について、令和2年度より開発業者と調整をしてきました。

しかしながら、「強制音声発信機能」について、携帯電話の機種や各キャリアの全てに対応できるようにするための調整に想定以上の時間を要したことで、今回導入に至ったものです。

現在、①「防災行政無線」、②「消防指令センターから配信される出動メール」、③「本アプリを使用した災害出動指令」により確実な出動指令が行われており、順調に運用しております。

また、本アプリは様々な機能を有していますが、指令と同時に災害現場が地図表示され、現場までのナビ機能も有しているなど、迅速な消防団活動を可能にしています。

まだ導入間もないということもありますが、必要に応じて開発業者へ新たな機能の提案を促し、アプリをアップデートすることで、消防団活動がより一層円滑に行えるよう努めていきたいと考えています。

【アプリの概要】



※現在海老名市における分団出動メールの配信は、災害現場が確定した時点で住所から出動分団を選別し、消防署への出動指令発信と連動し、自動配信されています。

なお、出動メールをアプリサーバーへ送信することで、メールをクラウド上で解析し、出動指令通知が出力されアプリが起動する仕組みとなっています。

【 出動指令以外のアプリの機能 】



【災害対応】

- ・消防団員への指令送信と同時に災害現場の地図を配信し、現場住所と災害が見える化することができます。



【動態入力】

- ・災害出動要請時、アプリをタップすることで出動の可否を連絡できます。そのため、出動可能団員を瞬時に把握できます。



【動態管理】

- ・活動中の消防団員の現在位置をリアルタイムで表示します。これにより活動団員の状況を瞬時に把握することができます。



【被害状況入力】

- ・浸水区域や搜索済み区域等を、スマートフォンに表示された地図に入力することが可能です。これにより、情報を他の団員と共有することができます。



【現場情報】

- ・災害現場の画像や動画を、アプリを通して他の活動団員や災害対策本部と共有することができます。



【連絡伝達】

- ・事務連絡をアプリで伝達することで事業効率の向上と速やかな情報伝達が可能となります。

予防課の事業報告について

○ 消防訓練指導会及び屋内消火栓指導会の開催

消防訓練指導会は防火管理に携わる方を対象とし、事業所に設置されている消防用設備等への理解を深め消火、通報及び避難など、火災時の初期対応の重要性を学び、防火管理者を中心とした効果的な消防訓練の実施につなげることを目的として実施しました。

また、市内の屋内消火栓設備を有する公共施設や事業所等を対象に、屋内消火栓設備訓練指導会を開催し、操作方法の習熟を図るとともに、防火に関する講習を受講することで防火・防災意識の向上を図り、火災予防に寄与することを目的として実施しました。

1 消防訓練指導会

- (1) 日程 令和4年10月14日(金)
- (2) 場所 海老名市消防本部及び催事広場
- (3) 内容 講習(座学)及び実技訓練(消火器の取扱い、煙体験ハウス利用の避難訓練)
- (4) 参加 13名 保育園関係者



【会議室での消防訓練座学】



【煙体験ハウスにて避難訓練】

2 屋内消火栓設備訓練指導会

- (1) 日程 令和4年10月19日(水)・20日(木)
- (2) 場所 海老名市消防署南分署
- (3) 内容 講習(座学)及び屋内消火栓を使用した操作実技訓練
- (4) 参加 71事業所 138名 屋内消火栓設備を有する公共施設や事業所等



【屋内消火栓を使用した操作実技訓練】

○ 防火ポスターコンクールの開催

消防本部では、毎年夏休み期間中の課題の一環として、火災予防への関心を高めってもらうために、市内小学校・中学校の生徒を対象として防火ポスターを募集しています。令和4年度は小学校、中学校あわせて323点の応募がありました。

本部内で審査会を行い、応募された全作品の中から35点の優秀作品を選出し、受賞者はえびな安全・安心フェスティバルで表彰されました。

また、優秀作品は神奈川県消防協会高座支部の防火ポスター審査会へ提出し、そのうちの2点が神奈川県消防協会高座支部防火ポスターコンクールの優秀作品に選ばれました。



【本部内の審査会の様子】



【高座支部の優秀作品】

○ 防火協力団体（女性防火推進員及び少年消防クラブ）の活動

家庭や地域への防災思想の普及を図ること（女性防火推進員）及び将来の地域防災を担う人材を育成すること（少年消防クラブ）によって、安全・安心なまちづくりを目指します。今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響から活動が制限されましたが、以下のとおり活動を行いました。

女性防火推進員

1 研修会

- (1) 日程 令和4年5月25日(水)
- (2) 場所 海老名市消防本部及び催事広場
- (3) 内容 消火訓練及び地震体験
- (4) 参加 参加者35名



【消火訓練体験】



【起震車による地震体験】

2 主な年間事業

- ・女性防火推進員委嘱式
- ・研修視察
- ・防火防災座談会
- ・普通救命講習
- ・消火訓練等
- ・消防出初式における啓発活動
- ・えびな安全・安心フェスティバルにおける啓発活動
- ・秋季・春季火災予防運動啓発活動
- ・自主防災・避難所開設訓練への参加

少年消防クラブ

1 救助訓練及び放水訓練

- (1) 日程 令和4年10月15日(土)
- (2) 場所 消防署南分署
- (3) 内容 結索訓練及び渡過訓練並びに放水訓練
- (4) 参加 40名



【結索訓練】



【渡過訓練】

2 赤十字救急法競技会

- (1) 日程 令和5年1月22日（日）
- (2) 場所 海老名市総合体育館
- (3) 内容 本結びリレー及び総合実技競技【3位入賞】
- (4) 参加 5名



【総合実技競技】



【3位入賞集合写真】

3 主な年間事業

- ・少年消防クラブ入会式及び修了式
- ・各種訓練体験 ・秋季火災予防運動における啓発活動

「2022 えびな救急フェア」について

本市では、令和4年9月4日（日）午前11時から午後3時まで、海老名中央公園にて「2022 えびな救急フェア」を開催しました。

「救急の日」及び「救急医療週間」の実施にあたり、市民の方に楽しんでいただきながら、救急業務及び救急医療に対する、理解と認識を深めていただくとともに、応急手当の重要性等に関して考えていただくことを目的としたものです。

イベント当日は天候にも恵まれ、約800名の方の来場があり、会場を盛り上げていただきました。

新たな試みとして、救急医療を専門とする海老名総合病院・救命救急センターにご参加いただき、救急医療の最前線で活躍する看護師や救急救命士と交流するコーナーを設け、来場者からの反響をいただきました。

また、心肺蘇生法の重要性を訴えるため、「救急戦隊エビレンジャー」による寸劇を復活させ、観覧席からの大きな拍手をいただき、大変有意義な時間となりました。

令和元年度は台風の影響により、また、令和2年度と令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置によりイベントを中止することとなり、残念に思われた子供たちも多くいたかと思えます。

今回は感染防止対策のため、規模の縮小や制限をかけての企画とし、大きな不安を抱えながらの開催となりましたが、マスク越しに見える子供たちの笑顔と元気な声を聞くことで、コロナ禍開催の意義を感じることができました。

【会場風景】



【実施内容】

- 心肺蘇生法及びAEDの実技体験
- AED展示コーナー
- 救急資器材の展示
- 献血コーナー
- 感染防止衣等着装コーナー
- 薬相談及び薬物乱用防止啓発コーナー
- 救急車両及び消防車両の展示
- 海老名総合病院PRコーナー
- 寸劇
- 健康相談コーナー

車両の更新について

本市では、消防車両の更新を14年、救急車両の更新を7年として計画しています。

令和4年度は西分署の消防車両として消防ポンプ自動車、本署の救急車両として高規格救急自動車を更新しました。

西分署の開署時には、本署の消防車両を移動配備し運用しておりましたが、更新計画に基づいた更新となります。

更新の消防車両は、今までの性能を維持したまま、大きさをコンパクトにすることで、機動性の向上を図りました。このことにより、西分署管内の狭い道路も、スムーズに進入することが可能で、より機敏な活動が可能となります。また、この車両は緊急消防援助隊に登録しており、他県で地震や風水害など大きな災害が発生した場合に、国や県の求めに応じて応援出動する車両となります。

最近の緊急消防援助隊の出動としては、令和3年7月に発生した熱海市土石流災害で、本市の隊員も更新前の消防車両で出動しました。

更新の救急車両は、救急資器材にオゾン発生装置を配備しています。これは、ウイルスに曝露した救急車内や資器材を消毒するための装置で、救急出動後に行われる消毒作業をスムーズに行うことが可能で、次の救急出動のための準備時間短縮となるほか、救急隊員の労務軽減にもつながります。

消防車両	購入金額	約 5,200 万円（資器材含む）	運用開始：令和5年2月20日
救急車両	購入金額	約 4,000 万円（資器材含む）	運用開始：令和5年3月1日

【更新消防車両】



【更新救急車両】



管理課・警備課の事業報告について

○ 災害件数

	火 災	救 急	救 助	救 急 支 援
令和元年	23件	7,413件	102件	459件
令和2年	27件	6,366件	92件	465件
令和3年	39件	6,880件	116件	512件
令和4年	32件	8,475件	159件	567件

○ 消防署で実施している主な訓練

消防署では隊員育成のため、年間を通して様々な訓練等を計画し、隊員のスキルアップを図り災害に備えています。

訓 練 項 目	訓 練 実 施 場 所
交通救助対応訓練	南分署訓練場
特殊災害対応訓練	南分署訓練場
多数傷病者対応訓練	南分署訓練場
暑熱順化対応訓練	南分署訓練場
水難救助訓練	神奈川県消防学校・北部公園体育館・社家相模川河川敷
アンダーパス救出訓練	神奈川県消防学校
川崎市消防局航空隊合同救助訓練	県立相模三川公園（芝生広場）
小田急異常時総合訓練	小田急海老名電車基地
東京電力パワーグリッド合同訓練	東京電力パワーグリッド(株)相模原研修センター



暑熱順化対応訓練



水難救助訓練



アンダーパス救出訓練



川崎市消防局航空隊合同救助訓練

○ アンダーパス救出訓練

近年、局所的な集中豪雨などにより道路冠水が多発し、通行車両が立ち往生し、水没する事故が発生しています。市内においても、（仮称）上郷河原口線を含めると合計3か所のアンダーパスがあり、同様な災害が想定されます。これらの災害に対し、被害を最小限に抑えることを目的として実施しました。



小田急異常時総合訓練



東京電力パワーグリッド合同訓練

○ 合同訓練

小田急異常時総合訓練は、鉄道事故発生時における小田急電鉄株式会社と消防・警察機関との連携及び安全管理体制を確認し、災害対応能力向上を目的として合同訓練を実施しました。

また、東京電力パワーグリッドと鉄塔・電線からの救助訓練を実施し、救出時の注意点や過去の災害事例及び対応方法など情報の共有を図りました。今後も、関係機関との連携強化を図るため継続的に訓練を行い、市民の安心・安全を守ります。

